

西村正二郎 にしむら せいじろう 教育評論家。萬延二年一月二十八日武藏國埼玉郡水深村生れ、明治二十九年一月二十六日歿（二六二—九六）。號隱西主人、隱西學人、隱西生。水深學校を卒へ教職數年。明治十六年埼玉縣私立教育會創設に參劃、機關誌「教育雜誌」を創刊編輯。次で辻敬之の知遇を得、雜誌「教育時論」主筆となる。また帝國大學に入り經濟學を専攻したのち、教育學研究のためアメリカ留學。二十五年辻の後を承けて開發社社長、更に大日本教育會、國家教育社、日本弘道會の編輯。

著書に「新撰實用往復文」全一冊（卷上・卷下・明治十九年二月埼玉・尚古堂出版、普及舎）、師範學校「師範學校海外教育史要」（明治二十六年九月十一日普及舎）等。